

**2018 J2 順位表 第12節終了**

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

1	大分	24p	+10	23	13
2	岡山	24p	+8	13	5 A△
3	福岡	22p	+6	19	13 A●
4	山口	21p	+4	21	17
5	横浜FC	20p	0	13	13 H●
6	町田	19p	+5	23	18
7	東京V	18p	+4	13	9 A△
8	松本	18p	+3	15	12
9	栃木	18p	-3	15	18 H△
10	大宮	17p	+1	17	16
11	新潟	17p	+1	14	13
12	熊本	17p	-2	17	19 AO
13	金沢	15p	+3	16	13 H●
14	水戸	15p	-1	12	13
15	徳島	14p	-2	10	12 H△
16	千葉	14p	-4	19	23 AO
17	岐阜	13p	-2	13	15 --- ---
18	甲府	12p	-1	10	11 H●
19	山形	12p	-4	12	16
20	讃岐	10p	-8	10	18
21	京都	9p	-8	10	18 A●
22	愛媛	9p	-10	7	17 AO

today's guest : **松本山雅**

2017 J2 19勝 9分14敗 勝ち点66: 8位

直近の対決と結果

2017/10/29
J2 - 39節@松本
<b>松本 2-1 岐阜</b>
田中パウロ淳一 scored.

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	松本山雅
2018/05/03 J2 - 12節@えがおS 熊本 1-2 岐阜	2018/05/03 J2 - 12節@松本 松本 2-0 水戸
2018/04/28 J2 - 11節@長良川 岐阜 0-1 金沢	2018/04/28 J2 - 11節@ニスタ 愛媛 1-1 松本
2018/04/21 J2 - 10節@Cスタ 岡山 0-0 岐阜	2018/04/21 J2 - 10節@松本 松本 1-0 山形

●10 試合を消化して、なかなか調子の上からない FC 岐阜。GW 3 連戦の初戦となる 4/28 (土) 第 11 節・ホーム金沢戦も、岐阜の選手たちは金沢の厳しい堅守によって攻撃の糸口を封じられ、為す術もなく 1-0 で敗戦。いまだ今季ホーム戦未勝利の選手たちに、試合後はスタンドから厳しい声が飛んだ。続く GW 3 連戦の 2 戦目、5/3 (祝) 第 12 節・アウェイ熊本戦は、#14 風間宏志、#31 宮本航汰のゴールで試合をリード。試合終盤に 1 点を返されて押し込まれるが、守りきって 2-1、6 試合振りに勝利を手にした。

この 2 試合の結果、岐阜は順位を 1 つ上げて現在 17 位に。J 3 降格圏 (21 位・京都) との勝ち点差も 4 に拡げることができた。上位の勝ち点差 3 に 13 位・金沢が、勝ち点差 6 には 6 位・町田が視界に入っている。今はまだ下位グループだが、ここで勝利すれば中位グループに、そして上位進出も現実味を帯びてくる。チームには、今季ホーム初勝利そして初連勝を達成して、反撃の狼煙を上げてもらいたい。

さて、今節の対戦相手は松本山雅 FC だ。昨シーズンは 8 位、今季は第 6 節まで未勝利で 20 位にまで沈んでいたが、そこから調子を取り戻して 6 試合無敗・4 勝 2 分で現在は 8 位にまで順位を上げてきている。反町康治監督体制 7 年目で、チームの主力選手はほぼ残留しつつ戦力を補強している松本は、少なくともチームとしての積み上げ・経験値では、大木武監督 2 年目の岐阜より上だと認めざるを得ない。また、松本は典型的な "J 2 サッカー" の戦術を採るチームだ。タフに走り回ってハイプレスを掛ける守備、素早いショートカウンターや高さを活かした縦へのロングボール、そしてセットプレーでの得点を狙うといった、フィジカルを活かした戦術を選択してくるだろう。特に、松本は今季の総得点 15 得点のうち、セットプレーとクロスボールで 10 点を獲っているチームだ。一方でショートパスからの失点も半数の 6 失点と、岐阜の大木サッカーとは対照的と言えるかもしれない。両チームが、互いの戦術のどのように応じ、それが功を奏するのかが勝敗の分かれ道となるだろう。

松本との通算対戦成績は、岐阜の 2 勝 1 分 7 敗・8 得点 13 失点。ホーム戦でも 1 勝 4 敗・4 得点 7 失点と負け越している。昨年は 3/12 (日) 第 3 節・ホーム戦 (異例のユニフォーム交換があった試合を憶えている岐阜サポ諸兄も多いだろう) で、FK からのボールを #4 飯田真輝に押し込まれて 0-1 での敗戦。10/29 (日) 第 39 節のアウェイ戦は、こちらも CK のボールを押し込んだ #7 田中パウロ淳一のゴールで先制するが、またもセットプレーで #9 高崎寛之、#14 パウリーニョにゴールを許して 1-2 で逆転負けしている。岐阜がホーム戦で松本からゴールおよび勝利を挙げたのは、14 年の 11/15 (土) 第 41 節 (3-1) まで遡ることになる。今節こそは岐阜の選手のゴールと勝利で GW 3 連戦・最終戦を盛り上げたい。

松本で注意すべき選手としては、今季 3 得点のストライカーの #9 高崎寛之を挙げておくべきだろう。そして、この 1 トップ FW をターゲットにして、2 シャドウの #7 前田大然と #8 セルジニョがゴールを狙ってくる。一方の岐阜も、#7 田中パウロ淳一と #11 古橋亨梧の両ウイングが機能して、ゴールを決める場面を期待したい。(なお、松本の #17 志知孝明は FC 岐阜 U-18 の 1 期生かつ J リーガー第 1 号となる選手だが、残念ながら今季はベンチ入りも果たせていない。)

中 2 日で迎える GW 3 連戦の 3 試合目。選手たちの疲労もピークにあるが、そのコンディションの厳しい試合を、普段以上に選手たちの強いメンタルが求められる試合を、ホーム戦で迎えることができる。隣県から多くの松本山雅サポーターが駆け付けるだろうが、ここは僕らの「ホーム」長良川だ。我々 FC 岐阜サポーターも、最後まで選手を鼓舞して背中を後押しする拍手と声援を、送り続けよう。そして今季初のホーム戦ナイトゲームを、今季ホーム初勝利と万歳四唱の叫びで飾ろう。(ささたく)

次回HomeGame

第16節 vs. アルビレックス新潟

5/26 (土) 15:00

@ 岐阜メモリアルセンター

長良川競技場

**大酒場 ホームラン**  
名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)  
年中無休 午後3時から営業  
TEL.058-263-5201

**Living in Woods**  
本庄工業株式会社  
http://www.honjo-woodream.com/

**湯麺 戸塚**  
店主: 戸塚 哲也  
瑞穂市穂積 1 5 9 6 - 4  
11:30~14:00/18:00~21:00 (L.O.20:50)  
お休み情報 twitter: @Tanmen\_Tozuka  
☆☆☆各務原店もよろしく!! ☆☆☆

「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』は JR 岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩 3 分。休: 月曜日

**投稿募集!!**  
gidaidohri@gmail.com

## 【第11節】岐阜0-1金沢

●晴天のGW初日。陽射しは少し強いけれど、カラッとした風が心地よく、日陰は寒くもなく過ごしやすいデーゲーム。隣県・石川県から相手サポも大勢やってきて、多くの人で賑わう屋台村。こんな気持ちの良い日は、ホーム初勝利に絶好……と思っていたのは、僕だけではなかったはずだ（苦笑）。さて、ここ3試合は無失点に抑えている岐阜の守備陣。組織的に守れるようになってきたということだろう。僕は“良い攻撃は良い守備から”信奉者（笑）なので、これは評価したい。一方、3試合連続無得点は、“攻撃は（最後は）個人技”と思っている僕は、選手の連携がなんとか噛み合えば……と思っていた。しかし、昔からよく「ゴール出んウィーク」って言ってたけど、DAZNのアナウンサーにも「ゴール出るウィーク」って言われることになろうとは…（苦笑）。

さて、試合は序盤から金沢ペース。前線から激しくプレッシャーを掛けて、ボールを持った岐阜の選手に前を向かせないようにする金沢。接触プレーに緩いジャッジも影響してか、そのプレッシャーに押されてボールを奪われ、何度もショートカウンターを受ける岐阜。だけど、早い守備への戻りや今節も#25ビクトルの好セーブで失点は許さない岐阜の守備陣。時間が経つと少しずつペースを取り戻し、プレッシャーをかわすようになってきたけれど、しかし決定機を演出するまでには至らない。金沢にも得点の匂いはそれほどしないなあ……と思っていたけれど、後半1回の決定機を決められてしまう。シュートコースは（ある程度）岐阜の選手たちが詰めていて塞いでいたように見えたけれど、それでも思い切って足を振り抜いた金沢の選手に、サッカーの神様は微笑んだ結果になった。一方の岐阜は、ダイレクトでシュートを撃っても良いと思えても、一旦ボールを触ってプレーが遅れたり、前を向かずに後ろにパスを出してしまって、得点できないシーンが目立っていたように感じた。やはり固い守備を崩すには、ダイレクトや早い縦へのパスや、積極的なシュートを狙っていかないと……しかし、失点してさらに動きが悪くなる岐阜の選手たち。何だかバタバタしてしまって、得点の香りもほとんどしてこない。交替で投入された選手も、試合のペースを（良い方向で）変えることができない。ちょうど今は、僕らには懐かしい「キャプテン翼」のリメイクもやってるところだし、ロベルト本郷なりに「ゴールが見えたら撃て！」って言いたくなっていたのは、僕だけなのだろうか（溜息）。

結局そのまま、0-1での試合終了。公式記録ではシュート9本、枠内シュートも6本あったらしいが、僕は正直そんなに撃ったと思えていなかった。そしてボール支配率は今節も6割強。サッカーは、パス数やポゼッション率で試合結果を争う訳ではないことを改めて痛感させられる、今季ワーストの試合内容だったのではないだろうか。なんだか、パスサッカーをしている岐阜の方が、相手よりも消耗して早く足が止まったように見えて、その点も僕には少し気がかりだ。“岐阜には後ろでボールを持たせておけばいい”との戦術を金沢の選手たちに徹底させ、最後には#9佐藤光一の“凱旋試合”まで演出した（前半途中退席しちゃったけれど）柳下正明監督の策略にハマった結果となった岐阜の選手たちには、ゴール裏からは厳しい言葉が飛んだ。選手たちには、もっと奮起して貰いたい。

これで4月は未勝利となってしまった。11節を経過してホーム戦未勝利。昨年9/3（日）第31節・愛媛戦以来、ホームでの勝利を見ていない。こんなに勝てていないのは…と調べたら、2013年シーズンに、第18節でホーム初勝利（長崎戦2-1）っていう記録があった。記録は破られるためにあるっていうけれど、しかし、こんな記録は破らないでほしいよね。（ささたく）

●たぶん、一年で一番いい季節、初夏の爽やかな空と風。ずっと木陰にいたい人生だった……。昨季の長良川での金沢戦。『岐大通』へ投稿した感想の冒頭部分はこうでした。去年の4月

29日のことでした。ちょうど1年経ったんですね。スコアは同じでしたが勝者と敗者は逆になっちゃいました。この日は屋台村に、あの金沢カレーの元祖と言われる「カレーのチャンピオン」さんが出店してたので、ウチの名物・グランドホテルのカレーと食べ比べ。スパイシー度は、文句なしにグランドホテル！そこまでは満腹、そして満足していたのですが、やはり、寄る年波か、いささか胃が重たい状況で声を出すのはキツかった。おまけに、試合内容まで消化不良な状況でしたし（苦笑）。

DAZNでハイライトだけ確認しましたが、決定機の数に圧倒的に金沢。とはいえ、金沢が絶好調には思えず、その分ウチの選手達のキレのなさを感じましたし、カラダが重いようにも見えました。しかし、相手も条件は似たようなもの。GWの初日にホームで見せられるのがこの内容では興行としてもいかなものか。まあ、試合に臨む体調を万全にできなかったのは自分も同じ。自省します。

しかし、この敗戦で、ここまでの3戦連続引き分けが活かせなくなったのはもったいない。振り返れば、降格圏内と勝ち点1差になってしまった。特に気になるのは、ここどころ攻撃のアクセント、決定機を作り出していたキョーゴ、あるいはパウロへの長いボールがほぼ無効化されていたこと。前述した選手のコンディションもあるのですが、相手も当然のことながら研究しているということでしょう。徳島戦でのアベちゃん、この日の長沼。彼ら個人をどうこう言う気はありませんが、ああいう場面を決め切れるかどうか。劣勢でも、それを決めることができれば勝てる。ゴールを狙う貪欲さ、シュートの精度を全員で高めていってほしいですね。ぜひとも、高めてください。次節の熊本戦も、会場のえがスタで応援するつもりです。共にがんばりましょう！（ぐん、）

●冷静に考えれば、チームの進み方は「正しい」ことがわかった試合だった。

序盤から、綺麗な4-4-2で岐阜を待ち構える金沢守備陣。中を固めるのではなく、両サイドもきっちりケアして岐阜のストロングポイントであるパウロとキョーゴの侵攻ルートを遮断する。これは膠着戦になると思った。パワー系FWでの中央突破が出来ない岐阜は、すぐには効かなくてもストロングポイントで押し続けるしかない。そんな前半20分に起きた、金沢・ヤンツー監督の退席。正直、彼があんなに沸点が低い（注：すぐに怒り出すことの喩え）とは思わなかったのだけど、監督がベンチからいなくなることの動揺が金沢守備陣の動きに明らかに影響し、ところどころで破綻が見えた。ヘッドコーチが直接指示を出せるハーフタイムまでになんとか攻略したかったのだけど、残念ながら逃げ切られてしまった。

後半、岐阜の右サイドをちぎられて折り返しを清原に決められて4試合ぶりの失点。でも、こう言っちゃなんだが岐阜は失点には慣れている（苦笑）。3連続スコアレスの前は勝った試合もドローの試合も失点しているのだ。どうということはない、と思ったのだが。

岐阜のサッカーは「戻った」。両サイドのストロングポイントから切り崩すここ数試合のサッカーではなく、後ろでまわして隙が出来るのを待つ（隙をうかがう、のではない）昨年までの手数も時間もかかるサッカーに。しかし、そのサッカーで攻撃開始のスイッチになる庄司もシシーニョもいまの岐阜にはいない。手数と時間をかけている間に試合は終わった。新しい戦い方に挑み、失敗した時にはもとの「自分たちのサッカー」に戻る。昨年の讃岐がそうだった。挑戦して結果が出ないと『塹壕戦』に戻って結果を出し、チームは残留した。同様に、岐阜も「自分たちのサッカー」に戻った。大木監督の「手数と時間がかかるサッカー」が1年かけてチームにしみ込んだということだ。チームの「進み方」としては正しい。しかし、進み方は正しいとして、「進む方向」が正しいかどうかはわからない。いまのところ、1シーズンと4分の1が終わってまだ結果は出ていないのだが。（吉田铸造）

## 【第12節】熊本 1-2 岐阜

●今日の0時に出発したレンタル・ハイエースは、若干の渋滞に巻き込まれながらも10時半にはえがスタに到着。しかし、すでに到着してる陸路組もいるし、空路、鉄道での参戦組も続々と駆けつけてくる様子は心強かった。当日の阿蘇地方は雨も上がって絶好の天気。でも、山の中の風は、ちょっと強めで、ちょっと冷たい。試合への影響を心配したが、実際のところはさほどでもなかった。それなのに、なぜか、エンドを入れ替えて始まった試合。太陽の位置を気にしてのことか？と思ったけど、後半に太陽と直面するのは熊本になる。いったい、どちらが勝って、どう選択したのか。

そんなことを気にしながら始まった試合は、若干押され気味に進んでいく。しかし、徐々に主導権を握って、ついに宏矢がゴールを打ち抜く。最近お得意の縦へのロングボールをキョーゴが収め、パス交換の連続からの絶妙なコントロール・ショット。まさに、宏矢の真骨頂。美しい！

後半開始早々には、宮本がフォアチェック？から追加点。J初ゴールおめでとう！どの試合でも献身的に続けていたプレーがついに結実した瞬間。待ってたよ。これからもよろしく！来季以降も一緒にやろうね。その後も危なげなく試合を進めてただけど、熊本の交替選手がみんなメンドクサイのばかりで、見事にカウンター決められました。皆川、伊東、そして達也。彼らが出て来る度に熊本の戦力がアップしていくのが目に見えた。戦術的交代とは言えないかもしれないが、あの流れをよく耐えぬいてくれたな、ウチの選手。熊本が今の順位にいる理由がわかったような気がした。ま、時間も時間だったし、追いつかれる気はしなかった。理由はないけど、なんとなく。ただ、2点差での最終盤なんだから、追加点より試合の閉じ方を考えてもよかったんじゃないのかな？それこそ、後ろでパスを回すことも含めてね。時間を上手に使ってくれたら、ゴール裏もソレに合わせたコールで後押しが出来たような気もする。次節以降の課題かな？あくまでも私見ですが。それにしても、たまにはウノゼロで勝ってみたい（爆笑）……嘘です。勝ってくれたら、それでいいです。

試合後はレンタル・ハイエースでトンボ帰り（正しくは「返り」）。0泊3日の強行軍だったけど、勝ってくればなんてことない。それでも、浮かれるのは帰るまで。この勝利を活かすためにも大切なのは次節。松本戦での勝利。今度こそ、長良川で万歳四唱をやりましょう！（ぐん、）

●前節・ホーム金沢戦では、得意とする攻撃パターンを封じられてしまった岐阜。隣県・金沢も負けたくない相手ではあったが、J昇格同期・熊本はさらに負けたくない相手。しかし熊本は6位と、11位だった金沢よりもチームは好調。その対戦相手に岐阜がどうやって戦うのか…そして、連戦のためスタメンを半分入れ替えた熊本に対してスタメン変更なしの岐阜。これがどのように影響するか…。

さて、試合序盤は熊本ペース。これに対して徐々にペースを取り戻す岐阜…この展開、対戦相手は厳しいプレスを掛けてボール奪取&ショートカウンターを狙って、それを受ける岐阜、という展開は、良いのか悪いのか僕には図りかねるけれど、なんだか毎度お馴染みになりつつありますね（苦笑）。今はここで踏ん張れているからいいけれど…と思っていたら、左サイドから中央に来たボールを受けた#14 風間宏矢のゴールで先制点！足元でボールを受けて力が入りにくい体勢だったと思うけれど、そのまま思い切って右足を振り抜いた、いいシュートだったと思う。その後、試合展開は岐阜のペースで前半を折り返し、後半も岐阜ペース。そして後半開始直後には#31 宮本航汰が敵陣後方でボールをインターセプトしてそのままシュートして追加点！宮本は今季そしてJ初得点。これまで惜しいシュートは何度もあったから、これで自信を持って、ゴールの量産に期待したいね（笑）。しかし、この後に熊本は#11 皆川佑介と#14 田中達也の主力選手を投入。特に

#14 田中達也は、16シーズンに岐阜にレンタルされていて、今季は前節までフル出場しているスピードスター。今節は連戦の影響からスタメンを外れていて、僕はラッキーって思っていたのだけど…（苦笑）。そして残念ながら、主力2選手が投入された熊本がペースを握り返して押し戻す展開になり、耐える岐阜の守備陣。試合終盤に1点を奪われてしまい、さらに勢いを増す熊本の攻撃だったけれど、何とか追撃を1点に凌いで、2-1で試合終了。今季3勝目を手にすることができた。

いやー、6試合かつ4月末勝利だったから、僕は今シーズンが少し不安になってただけど、これで少しは気持ちを楽にすることができるかもしれない。もちろん、ほんの少し（苦笑）。それにしても、今季これまでの戦績は、もちろん対戦相手にも影響するとはいえ、ホーム戦2分3敗・4得点7失点なのに対して、アウェイ3勝2分2敗・9得点8失点と、今のところ完全に『外弁慶』なチームですよ（苦笑）。うーん、何故なんだろう？単なる勝率の“誤差”の範囲内なのか、あるいは昨年9月から未勝利だから、「ホームで勝たないと」っていう選手たちに緊張があるのか、それとも他に何か理由があるのか…そんなことを、つつい考えてしまう。でも、僕が考えても、良くも悪くも解決策は見つからないだろう（苦笑）。だったら、今節も選手たちに最後まで全力で声援を送るのみ。今節こそ、ホーム初勝利を！期待してますよ！（ささたく）

## 【セカンド】 全社東海は岐阜で

●F C 岐阜 Second（以下『セカンド』）は、通例どおり天皇杯・全国社会人（全社）の岐阜県予選を戦っています。

先週の月曜に長良川メドウで決勝戦が行われました。『岐大通』の前号でもお伝えした通り、対戦相手の大垣コーガンズには元・F C 岐阜トップチームの片桐淳至や、東京国体の決勝戦で決勝ゴールの緑悟を含むセカンドOBが4名。そのせいか、スタンドにはおそらく100名を超える観客が。この決勝戦に進出した時点で、セカンドもコーガンズも、ともに全社東海予選や来年の天皇杯最終予選の出場を決めています。勝った方が地元で全社東海を戦える（負けた方が静岡会場へ）というだけの試合にしては考えられない観客数で、正直言ってかなり驚きました。

試合は、2-0でセカンドの勝利。セカンドは今季は東海2部で戦いますが昨季は東海1部。コーガンズは岐阜県1部。そのカテゴリーの差が試合内容にもキチンと顕れていました。ボールに対する1歩目の反応速度がセカンドの方が圧倒的に速い。それで、キチンと相手ゴール前で有効なシュートまで持っていけている。後半はコーガンズの戦い方に合わせちゃった部分も見られましたが、キッチリとクリーンシートで終わらせる試合運びも見せてくれました。

これでセカンドは全社東海は岐阜開催のヤマへ。富士通沼津（静岡7位）に勝ち、続いて中京大F C（愛知3位）と藤枝市役所（静岡2位）の勝者に勝てば、10月に茨城県で開催される全社本大会に出場できます。（吉田铸造）

